

和光市 I C T活用計画

○ I C T活用計画

(1) 各年度における I C T活用目標

<令和4年度> (目標)

- ・年間指導計画に記載した各教科の単元の I C T活用欄をもとに授業を行う
- ・学校訪問における I C Tを活用した**公開授業(可能な限り)**・研究授業の実施
- ・小学4年生以上は、タブレットを連絡帳の代わりとして使用する
- ・すべての学年において、各クラス1日2～3回の実施

【授業外での各クラスの1日2回以上の活用】

(例) **連絡帳** (日程、持ち物等の確認)、朝学習 (朝タイピング、ドリル教材等)、係活動、**クラブ活動**、各種委員会活動、**児童・生徒会活動**等

【各教科・教科外での各クラス1日2回～3回以上の活用】 *ドリル教材使用を除く

教科別活用表

☆：重点教科 (1単元の中で必ず1回以上使用する)

*重点教科指定 令和4年度も継続

★：令和4年度から重点に指定

重点	教科・教科外	各教科における一人1台端末の活用例
☆	国語	考えや意見の共有、作文添削、文章の要約、録音機能を利用したスピーチ練習等
☆	社会	情報収集・整理、考えの類似意見の整理等
☆	算数・数学	表やグラフの作成及びデータ活用、考えの比較・共有・発表等
☆	理科	実験の予想の比較・集計、観察・実験の記録 (録画) 等
	音楽	リズム学習 (音の可視化)、録音・録画機能を使用した音楽表現の振り返り学習、鑑賞での意見交換等
	図画工作・美術	作成物の鑑賞記録、意見交換、作品紹介、プレゼンテーション等
	体育・保健体育	スロー再生を利用した動作確認、チーム戦による作戦盤、自己の運動記録データの活用による自己分析等
	技術・家庭	実習・調査の観察記録、観察記録の交換・発表、情報モラルの意見交換、統計処理等
☆	外国語・外国語活動	録音機能を利用したスピーチ練習、発音確認、スピーチ原稿の作成及び添削、海外生徒とのディスカッション、ディベート等
☆	特別の教科道徳	考えの共有、意見交流、考えの変容等
★	特別活動	個人の意見の表明、分類・整理、情報モラルの意見交換等
	生活・総合的な学習の時間	観察や見学の記録・共有 、調べ学習での情報収集、蓄積したデータをもとにした発表及びプレゼンテーション等
	特別支援	障害による学習上または生活上の困難さを改善・克服等

<令和5年度> (目標)

- ・令和4年度の年間指導計画のICT活用実績をもとに、令和5年度の実施計画を立てる
- ・学校訪問におけるICTを活用した公開授業・研究授業の実施
- ・すべての学年において、各クラス1日2～3回の実施（子どもの健康に配慮しながら実施）

【授業外での各クラスの1日2回以上の活用】

(例) **連絡帳**（日程、持ち物等の確認）、朝学習（**朝タイピング、ドリル教材等**）、係活動、**クラブ活動**、各種委員会活動、児童・生徒会活動等（選挙・広報含む）
学校間交流、小中連携、地域・社会交流、他市交流、国際交流、キャリア教育

【各教科での各クラス1日2～3回以上の活用（ドリル教材使用以外の活用）】

- ・使用については、前頁に示した教科別活用表のとおり

(2) 新型コロナウイルス等の感染症による臨時休業や分散登校期間中及び学級閉鎖等におけるICTを活用したオンラインによる学習支援

- ・teams、zoom等（Web会議システム）を利用した朝の会及び学習の実施
- ・学校配信メール（さくら連絡網）や学校ホームページへのリンク掲載、Skyメニュー等を活用し、学習用動画や課題等を配信
- ・学習支援ソフトやドリル学習、YouTube等を用いて課題の配信・回収・レビューを実施

(3) 持ち帰り学習（通常時）

- ・小学校3年生以上は、毎日持ち帰りを行う。（※持ち帰る荷物の量や重さに十分配慮する）
- ・4月～5月に児童生徒に対して活用ルールの確認を行い、保護者に対して利用規定及び持ち帰りタブレットガイドの周知を行い、同意書の提出を依頼する
- ・新入学児童は、6月～7月初旬に持ち帰り練習、家庭での接続確認を行う
- ・学校からの課題の配付は随時行う
- ・長期休業日は、家庭に持ち帰り、各学年の実態に応じた課題を出す
- ・緊急時のリモート学習に対応できるように備える
（例：学期に1度、リモート授業の日を設ける、等）

(4) 指導体制の強化や働き方改革（校務の効率化）への対応

【情報教育推進アドバイザー（ICT支援員）】

- ・令和5年度までにICT支援員を全校に配置（目標）*令和6年度以降も継続する

【デジタル教材活用】

- ・デジタル教科書（児童・生徒用）を用いた授業の実施準備
*令和3年度は、小学校4校（算数）、中学校2校（数学・理科）で試験的に実施
- ・デジタル教科書（教師用）を、授業の導入時や考察を深める場面等で効果的に活用する
- ・ランドセルが重くなるため、持ち帰りの教科書・教材を精選する
- ・デジタルドリルを活用し、副教材費の削減を図る
- ・文部科学省CBTシステム（MEXCBT）の活用

【校務支援システムの活用】

- ・ 総合型校務支援システムによるポータルシステムの活用により、打合せや連絡を共有化し、校務の効率化を推進
- ・ グループウェアを活用し、出張、休暇等、各職員のスケジュールの可視化
- ・ 会議等でのペーパーレス化を図り、会議時間の短縮を図る
- ・ 校務システム上で勤怠管理をすることによる勤務実態の的確な把握

【集計・連絡方法の変更】

- ・ 学級懇談会、保護者説明会による出欠や学校評価やアンケートを学校配信メール（さくら連絡網）や google フォーム等を活用する
- ・ Sky メニュークラウドの配信機能を活用した児童生徒の連絡帳の電子化
- ・ 学校配信メール（さくら連絡網）を使用した出欠連絡、健康チェックの実施、必要に応じて、保護者連絡機能を使用し、学校に連絡する
- ・ ウェブ会議システムによる授業参観、個人面談

【主任会実施方法の変更】

- ・ MicrosoftTeams の活用による各種主任会の実施及び情報交換・共有の円滑化

【組織の構築】

- ・ 各学校に I C T 活用推進委員会を組織し、I C T 活用による授業改善及び、I C T の業務に係る負担の分散化を図る（必置）

○達成状況を踏まえたフォローアップ計画

（１）教職員研修計画

- ・ 管理職研修の実施及び毎年度の情報推進担当への研修会の実施
- ・ 各校による I C T 活用（授業支援ソフト・校務支援システム）研修会の実施
- ・ I C T 活用推進委員会の実施
- ・ 各年度終了後、各学校の活用状況をとりまとめ、目標未達成の学校については、I C T 活用に関する研修等の実施
- ・ 各教職員の I C T 活用能力の実態把握においては、文部科学省が示している「教員の I C T 活用指導力チェックリスト」を活用し、教員の I C T 活用能力（教材研究・指導の準備・評価・校務に関してや、授業での活用能力、児童へ指導する能力、インターネットやセキュリティに関する項目など）を分析し、個人や学校での課題を洗い出し、集計結果をもとに市の重点を定める
- ・ 企業による I C T 研修会の実施

（２）通信ネットワーク環境整備計画

【校内 L A N 整備計画】

- ・ 小学校 9 校、中学校 3 校は、「公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金」を活用し、令和 3 年度中に 1 G b p s の校内 L A N 環境を整備【完了】
- ・ 同補助金を活用し、普通教室へ充電保管庫を整備【完了】

【インターネット接続環境整備】

- ・令和3年度にセンター集約型から学校個別接続（ローカルブレイクアウト）の整備【完了】

(3) 学習者用コンピュータ配備計画

- ・小学校9校、中学校3校は、「公立学校情報機器整備費補助金」を活用し、令和3年3月末までに小中学校学習者用タブレット端末6350台を整備【完了】
- ・令和4年度の児童生徒数の増加に伴い令和3年度の段階で小・中学校学習者用タブレット端末95台を追加整備

(4) 大型提示装置等の学習環境整備

- ・令和2年度に小学5、6年生及び中学1年生教室に整備【完了】
- ・令和3年度に中学2、3年生教室に整備【完了】
- ・令和4年度に小学3、4年生教室に整備予定（現年度）
- ・令和5年度に小学1、2年生教室に整備予定

(5) 家庭学習の充実

- ・学習ログを活用したAIドリル学習
- ・電源アダプターの貸与により、長期休業や臨時休業時のタブレットの持ち帰りが可能
- ・学習インフラが整っていない家庭への支援（ルータ貸与）*就学支援に係る家庭

(6) 情報モラル教育の充実

- ・和光市『わたしとタブレット』10の約束～タブレット活用のルール～の策定

和光市「わたしとタブレット」10の約束～タブレット活用のルール～

【小学校：低学年】

わこうし 小学校用：低
「わたしとタブレット」10のやくそく

- ① タブレットを つかって 友だちと 学び合います。
- ② 友だちが きずつくような ことを 働きこみません。
- ③ つかうときは、先生の 言うことを よく 聞きます。
- ④ インターネットを 正しく つかいます。
- ⑤ 自分の じょうほう（アカウントやパスワード）は、ほかの 人に 教えません。
- ⑥ タブレットは みんなのものなので 大切に つかいます。
- ⑦ うごかなくなったら、先生や お家の 人に 知らせます。
- ⑧ カメラを つかうときは、あい手の きよさを もらいます。
- ⑨ 長い 時間 つかわないように、休みながら つかいます。
- ⑩ 学校で べんりした ネットモラルを 自分の みらいに やくだてます。

「わたしとタブレット」
10のやくそくを
しっかりと覚えて
べんりしましょう。


【小学校：中学年】

和光市 小学校用：中
「わたしとタブレット」10の約束

- ① タブレットを使って、友だちと学び合い、自分の考えを深めます。
- ② 友だちがきずつくようなことを働きこみません。
- ③ タブレットを使うときは、先生の言うことをよく聞きます。
- ④ インターネットの便利さとこわさを正しくいかして使います。
- ⑤ 自分の じょうほう（アカウントやパスワード）は、ほかの人に教えません。
- ⑥ タブレットは みんなのものなので 大切に 使います。
- ⑦ タブレットが 動かなくなったら、先生や お家の 人に 知らせます。
- ⑧ カメラでだれかを撮影するときは、必ず相手の許可をもらいます。
- ⑨ 長い時間使わず、休けいしながら使います。
- ⑩ 学校で勉強したネットモラルを自分の未来に役立てます。

誰かを学びに助けて、みなさんと、『わたしとタブレット』10の約束を守り、『安心・安全・保護』に使って、学習を深めてください。


【小学校：高学年】



和光市
「わたしとタブレット」10の約束

小学校用：高

- ① タブレットを使って、友達と学び合い、自分の考えを深めます。
- ② 友達が傷つくようなことを書きこみません。
- ③ タブレットを使うときは、先生の言うことをよく聞きます。
- ④ インターネットの便利さとこわさを正しく理解して使います。
- ⑤ 自分の情報（アカウントやパスワード）は、他人に教えません。
- ⑥ タブレットは みんなのもの なので 大切に 使います。
- ⑦ タブレットが 動かなくなったら、先生や お家の人に 知らせます。
- ⑧ カメラでだれかをさつえするときは、必ず相手のきよかをもらいます。
- ⑨ 長い時間使わず、休けいしながら使います。
- ⑩ 学校で勉強したネットモラルを自分の未来に役立てます。



豊かな学びに向けて、みなさんで、「わたしとタブレット」10の約束を守り、「安心・安全・快適」に使って、学習を深めてください。


1

【中学校】


中学校用

和光市

「わたしとタブレット」10の約束



- ① タブレットは、共に学び合い、自分の考えを深めるために使います。
- ② 人を傷つけるような書き込みは絶対にしません。
- ③ タブレットを使用する時は、先生の指示をよく聞きます。
- ④ インターネットやSNSの便利さと怖さを正しく理解して使います。
- ⑤ 自分や他人の個人情報、インターネット上にあげることは、絶対にしません。
- ⑥ タブレットは、みんなのもので大切に使います。
- ⑦ タブレットが故障したり、不具合があるときは、先生や保護者に知らせます。
- ⑧ 誰かを撮影するときは、必ず相手の許可をもらいます。
- ⑨ 長時間使わず、休憩しながら使います。
- ⑩ これまでの学習を生かし、人の幸せにつながるような使い方をしていきます。



豊かな学びに向けて、みなさんで、「わたしとタブレット」10の約束を守り、「安心・安全・快適」に使って、学習を深めていってください。

1